科目区分	専門基礎分野	科目名	形態機能学 I (脳・神経、運動器)	対象学生	第 1 学年
		単位数(時間数)	1 単位 (30 時間)	学 期	第 1 学期
担当講師	(院内講師)、(院内講師)			実務経験	有
科目目標	1. 脳・神経の構造と機能を理解する。 2. 運動器の構造と機能を理解する。				
授業計画	第 1～7 回 神経系の構造と機能 (講義) ・神経細胞と神経組織：神経細胞と情報伝達、神経膠細胞、体性神経、自律神経他 ・中枢神経系の構造と機能：脊髄の構造と機能、脳の構造と機能 脳幹(延髄・橋・中脳)、小脳、間脳(視床・視床下部)、大脳、脳室と髄膜、 脳脊髄液の循環 ・末梢神経系の構造と機能：脊髄神経の構造と機能、脳神経の構造と機能 運動機能と下行伝導路、感覚機能、体性感覚と上行伝導路 ・脳の統合機能：脳の高次機能(覚醒と睡眠)、脳波と睡眠(概日リズム、体内時計) 第 8～14 回 運動器系の構造と機能 (講義) ・骨と骨格：人体の骨格、骨の形態と構造、組織と組成、骨の発生と成長、軟骨の 構造 ・関節の構造と機能：関節の一般構造、関節の形状と可動性 ・骨格筋の構造と機能：骨格筋の構造と作用、神経支配、 体幹の骨格と筋(脊柱、胸郭、胸部・腹部の筋、殿部の筋・骨盤底筋 他) 上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋、頭頸部の骨格と筋、 筋の収縮と特性、骨格筋の収縮機構、種類と特性、不随意筋の収縮の特徴 ・全身の骨格の形態と構造 (演習) 第 15 回 終了試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 解剖生理学 医学書院				
講師からの メッセージ	模型や視聴覚教材を使用して各称や働きを確認する。 神経細胞と神経組織、中枢神経系の構造と機能、末梢神経系の構造と働き、骨格の構造 と機能、関節の構造と種類、骨格筋の構造と機能など、国家試験出題基準を確認し学習 すること。				